「ディスカバー農山漁村の宝」（第２回選定）
第３回有識者懇談会

日時：平成27年10月29日（水）
16時40分～17時5分
場所：総理大臣官邸３階南会議室

1　開会

2　有識者懇談会座長挨拶

3　森山農林水産大臣挨拶

4　石破地方創生担当大臣挨拶

5　「ディスカバー農山漁村の宝」（第２回選定）のグランプリ及び特別賞の決定について

6　意見交換

7　閉会

【配付資料】
資料１　応援メッセージの募集結果について
（参考）選定地区への主な応援メッセージと有識者委員のコメント
資料２　「ディスカバー農山漁村の宝」（第２回選定）グランプリ及び特別賞について
参考１　「ディスカバー農山漁村の宝」有識者懇談会委員名簿
参考２　「ディスカバー農山漁村の宝」（第２回選定）選定地区

資料１

応援メッセージの募集結果について

10 月２日から 12 日にかけて、内閣官房や農林水産省の SNS 等を通じて応援メッセージを募集したところ、1,361 件のメッセージが寄せられた。寄せられた主なメッセージ※は以下のとおり。

（※グランプリ候補地区分のみ掲載）

函館育ちふっくりんこ蔵部（くらぶ）（北海道）	ふっくりんこ蔵部の取組は、今の人口減少社会を救うヒントやお手本になると思っています。（北海道 50 代 女性）
遠野（とおの）・住田（すみた）ふるさと体験協会（岩手県）	まさに日本の原風景。のどかな山村景色と木をふんだんに使った家々が、心を癒します。どちらさんも、おでってくたんせ！（岩手 40 代 女性）
お菓子な郷（くに）推進協議会（埼玉県）	お菓子な郷推進協議会の皆さんの活躍は、秩父の商業の活性化だけでなく、農林業の力強い応援にもなっていて、地域の発展にはなくてはならないものです。（埼玉 40 代 女性）
新湊（しんみなと）魚業協同組合（富山県）	地産地消、子どもたちが地域の食べ物を食べて、地域に愛着を持ち、ずっと住み続けたいと思うことが、地方創生の原点だと思います。（東京 40 代 男性）
馬瀬（まぜ）地方自然公園づくり委員会（岐阜県）	馬瀬地域の取組は、中山間地域の過疎に悩む地域での良い模範となる取組と思われ、大変素晴らしいと思い、今後とも応援していきたいと考えています。（岐阜 50 代 男性）
株式会社早和（そうわ）果樹園（和歌山県）	3 年前、摘果体験をさせて頂き、皆さんとても温かく、楽しく、仕事熱心なのは勿論、科学的で研究熱心で、農業に対する考え方が変わりました。（東京 50 代 女性）
社会福祉法人Ｅ．Ｇ．Ｆ（山口県）	本当の意味での農福連携を実践されており、E.G.F の活動の向こうには「笑顔」がたくさん見えます！（山口 40 代 男性）
特定非営利活動法人美郷（みさと）宝さがし探検隊（徳島県）	2 年前に一度訪れましたが、人がとても温かく何より地域ぐるみで地元を盛り上げようという機運が感じられました。梅酒もおいしかったし、石積みのライトアップもすばらしかったです。（広島 30 代 男性）
やんばる畑人（はるさー）プロジェクト（沖縄県）	地域の農産物（食材）を中心に、流通・加工者、飲食店など様々な職種の方々が 1 つにまとまるとともに、地域農業の担い手を育てていく取り組みが素晴らしい！（沖縄 50 代 男性）

（参考）

27選定地区への主な応援メッセージと有識者委員のコメント

No.	都道府県	地区名	主な応援メッセージ	有識者委員の主なコメント
1	北海道	函館育ちふっくりんこ蔵部	○ふっくりんこ蔵部の取組は、今の人口減少社会を救うヒントやお手本になると思っています。（北海道 50代 女性） ○「ふっくりんこ」は、それまで「先発後進地帯」と言われ続けてきた道南エリアの稲作に活力を与えてくれた品種です。（大阪 40代 男性） ○ふっくりんこの食育総合学習で、体験を通じて、お米とは、米づくりとはを学びました。これからも頑張ってください！（北海道 20代 女性）	○ブランドを守り育てる姿勢が素晴らしい。 ○団体独自で厳しい品質基準を設け、収入も品質によって分かれる成果主義の採用により、高品質が維持されている点が評価できる。 ○品種改良に加え、その後の販売まで含めた地産地消・国内便ファーストクラスの機内食採用や消費者交流まで展開されている。
2	岩手県	遠野・住田ふるさと体験協議会	○まさに日本の原風景。のどかな山村景色と木をふんだんに使った家々が、心を癒します。どちらさんも、おでってくたんせ！（岩手 40代 女性） ○復興、村おこし、その他岩手県を盛り上げる諸々を心より応援していきたいです！岩手県、がんばっぺ！！！（大阪 50代 女性） ○農村型観光は遠野市に合っている観光スタイルで、地域の活性化にもつながっていると思います。この活動を私も手本にして行きたいと思います。（岩手 40代 女性）	○地産外消からインバウンドまで、あらゆる企画を実行。 ○廃校を利用したアイデア、大企業の研修を受け入れたことでリピーター増につなげたことを評価。 ○企業を巻き込む取組は地域づくりの新しい形といえる。
3	埼玉県	お菓子な郷推進協議会	○森を育ててお菓子を創る 地域のお菓子屋さんの取組は、新たな発想で、夢と希望を発信してくれています。（埼玉 50代 女性） ○すばらしい取組で、卒論のテーマにしたいと感じました。（東京 20代 女性） ○お菓子な郷推進協議会の皆さんの活躍は、秩父商業の活性化だけでなく、農林業の力強い応援にもなっていて、地域の発展にはなくてはならないものです。（埼玉 40代 女性）	○森づくりから海外へ届く活動、まさにグローカル（glocal=global+local）を統合する活動。 ○地域の若者、高齢者、障害者等と連携協働することで収益が地域全体に循環する仕組みが構築されている点、カエデ植樹により山村の荒廃防止が図られている点が評価できる。 ○日本にもメープルシロップの産地があったとは！カナダに負けないくらい頑張れ。
4	富山県	新湊漁業協同組合	○ただ魚を捕るだけでなく、漁業者自らが考えていく姿勢が浜の活力となって、賑わいをみせていると思います。（富山 40代 男性） ○地産地消、子どもたちが地域の食べ物を食べて、地域に愛着を持ち、ずっと住み続けたいと思うことが、地方創生の原点だと思います。（東京 40代 男性） ○カニ給食は、大人になって仲間が日本全国に散っても、同窓会で一生話題に上ることでしょう、子供たちの心まで繋ぐ、すばらしい試みだと思います。（東京 40代 女性）	○農山漁村にとって、消費者を巻き込んでいくことが今後大きな課題。そうした中、地域振興、食育、地域ブランド化、PR戦略、技術開発など、しっかりした取組が素晴らしい ○魚ばなれが進む中で立ち上がった漁業者パワーの先駆者に思える。魚食普及に積極的な点を評価。 ○情熱、地域のプライド、食育、将来に向けた永続性、PRの仕方に特質がある。

No.	都道府県	地区名	主な応援メッセージ	有識者委員の主なコメント
5	岐阜県	馬瀬地方自然公園づくり委員会	○馬瀬地方自然公園づくり委員会の活動の素晴らしいところは、森と川を一体として考え、そのつながりを守ろうとしているところです。（岐阜 40代 男性） ○馬瀬地区の取組はやはり先進的で、是非、真似をしたいです。日本で最も美しい村連合にも加盟している地域ですし、さらに美しい活動に取り組んでください。（長野　40代 男性） ○過疎化しつつある馬瀬でグリーン・ツーリズムという活動はさまざな国の人と交流する機会が増えるのと国内だけでなく世界に馬瀬の良さを知ってもらう良い活動だと思います！（愛知 20代 女性）	○過疎山村であるにもかかわらず、「フランス山村調査隊」を派遣し、海外のモデルを積極的に取り入れている点が評価できる。 ○フランスの事例を日本に根付かせる発送。「美味しい、美しい」というコンセプトの下、実績も大きい。 ○美しい景観に集中して磨きをかけつつ企画を実現している。参加者も順調に伸ばし少人数で丁寧に対応している様子が覗える。
6	和歌山県	株式会社　早和果樹園	○地域の雇用に単に貢献するだけだなく、農業のすばらしさ、また農業の可能性を従業員の皆様で一緒に探求されていると感じる会社です。（和歌山 40代 女性） ○3年前、摘果体験をさせて頂き、皆さんとても温かく、楽しく、仕事熱心なのは勿論、科学的で研究熱心で、農業に対する考え方が変わりました。 （東京 50代 女性） ○早和果樹園さんは、地域一体となり、和歌山県のみかんを世界中の一人ひとりに美味しく届けています。私はたまたま出会った味まろしぼりのファンになり、工場見学をさせていただきました。（福井 40代 男性）	○農家を経営するという面でみると最高の実例。現代ニーズに合った商品、販売方法への工夫がみられる。 ○高品質生産に取り組んだことで、高級スーパー、百貨店での定番商品となり、海外への輸出も試みている点、販売の拡大に伴い新たな雇用者の大半が農業外からの参入者である点が評価できる。 ○地元の農家の人たちとの協働作業により、豊富な商品と研究努力がなされている。
7	山口県	社会福祉法人E.G.F	○生産された農産物が、今年度整備予定の加工場でカット野菜になってスーパーや直販所で販売されたら、ぜひ購入したいです。（岡山 50代 男性） ○本当の意味での農福連携を実践されており、E.G.Fの活動の向こうには「笑顔」がたくさん見えます！（山口 40代 男性） ○農業の担い手が減っている中で、障がい者農業に取り組む、まさに理想のかたちですね。過疎化のまちで明るい話題です。（山口 40代 男性）	○農福連携の先駆的モデル。ポリシーに感動した。 ○障害者の個性や特技を生かす雇用で、地域活性化と事業運営を実現している。 ○障害者の就労支援にとどまらず、本物のものづくりを目指すことで、商品のリピーター確保に加え、地域住民から農地管理依頼が殺到している点を評価。
8	徳島県	特定非営利活動法人　美郷宝さがし探検隊	○2年前に一度訪れましたが、人がとても温かく何より地域ぐるみで地元を盛り上げようという機運が感じられました。梅酒もおいしかったし、石積みのライトアップもすばらしかったです。（広島 30代 男性） ○限界集落の消滅などの問題を近々に感じながら、悲観するだけでなく、明るく前向きに楽しんで取り組んでいるおじちゃん、おばちゃんと話していると、元気になります。（徳島 40代 女性） ○梅酒にホタル、それを磨く人たち。地域ならではの資源で地方創生を果たす美郷を応援します！（徳島 40代 男性）	○外からの新鮮な視点が地域の宝物を発見する典型的な好例。 ○地元の人が「何もない田舎」と感じる中、訪問したお客様の声をヒントに素敵なエリアに変身させたのは、地元の皆様のしなやかな行動力か。 ○こつこつと取り組み、年間8万人の観光客来にまで増やしている。地域おこし協力隊との連携もうまくいき、新しい取組も期待できる。

No.	都道府県	地区名	主な応援メッセージ	有識者委員の主なコメント
9	沖縄県	やんばる畑人（はるさー）プロジェクト	○1,500km離れた埼玉県加須市に、やんばる畑人プロジェクトに刺激されてアクションを起こしている又は起こそうとしている者が複数人いるくらい、刺激的でアクティブな活動です。（埼玉 40代 男性） ○地域の農産物（食材）を中心に、流通・加工者、飲食店など様々な職種の方々が1つにまとまるとともに、地域農業の担い手を育てていく取り組みが素晴らしい！（沖縄 50代 男性） ○地元にこだわり地元を活かした農業にがんばるかっこいいはるさー〈農業従事者〉はこれからの農業のビジネスモデルだと思う。（沖縄 50代 女性）	○地域おこしの実績、ビジョン、将来性、文句なし。まだ歴史は浅いが、着実に伸びており、今後も新たな展開が期待できる。 ○イベントを企画して成功させ、民間企業ともよい形でタイアップし、市場を拡大している。 ○普段は関係が薄い異業種が協働し、同じスローガンで地域活性化に取り組んでいることが評価できる。
10	北海道	絵本の里けんぶちVIVAマルシェ	○多くの人たちが就職や進学で剣淵町を離れてしまう中、珍しい野菜を作りお洒落な格好で野菜を売る姿は私の農業のイメージを変えさせてくれた気がします。（神奈川 30代 主婦） ○儲かる農業、カッコいい農業を具現化している彼らの取組は、全国の農業・異業種の若い担い手に刺激を与えるとともに、農業イコール成長産業を印象付ける格好のモデルケースになるはずです！（北海道 40代 男性） ○剣淵町の若手農業者「VIBAマルシェ」の活動は地域農業の活性化と人づくりに大きく貢献しています。（北海道 50代 男性）	○農協青年部の主導で将来性・熱意が感じられる。売上の右肩上がりも評価。特産品への意欲も買える。 ○将来を担う若者の頑張りは何よりも魅力的。続けることがさらに大きな変化につながる。 ○価格競争を避けるため少量多品種栽培への移行で仲卸、レストランとの直接取引がマルシェ売上げを上回るまで拡大している点を評価。
11	青森県	農業生産法人　株式会社グリーンファーム農家蔵	○行ってみたいです。（青森 10代 男性） ○地元で頑張っているので応援します。（青森 50代 男性） ○地元でこんな活動があるとは・・・一度、行ってみたいです。（青森 20代 男性）	○地域資源の有効利用、人材育成、情報発信、ブランド確立など外への積極的な取組が素晴らしい。 ○景観が宝物であることを実証している。 ○国内外をつなぎ、国境を越えようとしている日本型グリーン・ツーリズム活動を評価。 ○インバウンドの受入れにより海外への発信が拡大。
12	宮城県	一般社団法人ReRoots	○地域に根差した活動に真摯に取り組んでおり、これからも若林区の復興に向けて頑張ってもらいたいと思っております。（愛知 40代 男性） ○震災からの復興支援を持続的かつ自立的に実践している素晴らしい活動です。（神奈川 40代 男性）	○震災後、様々な挑戦から若者が新たに事業化して取り組んだこと、若者中心の取組の熱意が評価できる。震災復興のモデルビジネス。 ○被災地外から人を招き入れる仕組みの構築により、農村復興への継続的関心を喚起した点、大学生が主体となることで若者の農業への関心を高め、地元での就農につながったことを評価。 ○ボランティア終了後も新しい流れを生み出した。

No.	都道府県	地区名	主な応援メッセージ	有識者委員の主なコメント
13	栃木県	芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会	○芝桜を見に行ったことがありますが、本当にきれいでした。（東京 60代 女性） ○芝桜きれいでした。（埼玉 40代 男性） ○行ってみたいです（北海道 60代 男性）	○「負の遺産をプラスに変える」思い、土砂をストックしていた未利用地を公園として活用し、地域全戸が会員として各種活動を実施、また、イベント開催時期のみならず、周辺の管理業務が雇用（高齢者雇用）を生み出している点が評価できる。 ○20万人の人を呼びこんできているのはすごい。地域コミュニティの再構築につながってきている点を評価。
14	神奈川県	平塚市漁業協同組合	○新鮮な魚を即売会などでいつも買ってます。漁港の食堂もおいしい魚料理がリーズナブルに食べることができ、地域に住んでる者として誇りです。（神奈川 40代 男性） ○人口900万人の神奈川県のど真ん中、地魚で地域を大いに盛り上げる平塚市漁協の取組は、全国の都市近郊漁村再生のモデルになると確信します！（神奈川 40代 男性） ○平塚市漁協は、楽しくワクワクする試みが多く、日本一発信力のある漁協だと思います。（東京 40代 女性）	○お魚さばき教室など、魚に興味を持たせる努力がみられる。 ○多面的なアクションに拍手。
15	静岡県	西伊豆しおかつお研究会	○西伊豆しおかつお研究会のみなさんの活動を見習い、わが街の活性化に繋げたいと思っております！（三重 40代 男性） ○昔から伝えてきた鰹にまつわる風習や食文化を、最も象徴的な塩鰹に着目し、絶滅の恐れから何とかしょう、そして、伊豆半島も元気にしょうという西伊豆しおかつお研究会の活動は、とっても素晴らしいです。（静岡 40代 男性） ○ありがとうに代わる、ありがつおー♪この合言葉好きです。頑張れ西伊豆しおかつお研究会！（静岡 30代 女性）	○「潮鰹」という唯一無二の産物には大きな可能性を感じている。 ○食育を通じた郷土愛を育む出張授業を行っている点、また、設立から補助金を受けずに活動を継続している点が評価できる。 ○ストーリーのある地域全体の活かし方が見事。
16	石川県	春蘭の里実行委員会	○是非、宿泊してみたいです。応援しています。（石川 50代 女性） ○ぜひ泊まりたい（石川 50代 男性）	○農産物を「売るのではなく、来てもらって食べてもらう」という視点、農家民宿を核に人々が訪れることで、里山林の整備、耕作放棄地の解消も進んでいる点が評価できる。 ○地域全体でサービスの質向上を実現する仕組み。 ○農村の魅力を「ありのままであること」と見極めた点と実践力に拍手。

No.	都道府県	地区名	主な応援メッセージ	有識者委員の主なコメント
17	石川県	NOTO高農園	○NOTO高農園さんは、農業経験者でなかったにもかかわらず、美味しくて安全な野菜を目指し、奮闘されてきました。野菜たちは本当に味があって、信頼して口に出来ます。（東京 60代 女性） ○基本は大変地道に真面目に、、それでいて変革の道へ進み続ける高さんの努力は計り知れません。ぜひこれからも安心で美味しい楽しい野菜待ってます！（石川 40代 女性） ○太陽の光いっぱいの高農園で収穫を経験したことがありますが、土の柔らかさの中で育った野菜は甘くて味の濃い野菜でした。（石川 60代 女性）	○小さな取組だが、非常に分かりやすい活動。今後農業を目指す人々の指針となる。
18	福井県	殿下の里づくり組合　かじかの里山殿下部会	○商売をするのには最悪の立地条件にもかかわらず、「行動すれば何かが変わる」と云う思いで活動する女性達！本当にすごいと思います。（福井 50代 男性） ○農家レストランでいただいた呉汁、1歳の息子に飲ませたら1杯丸々飲み干してしまいました！他の料理も美味しく、大満足でした。（福井 30代 女性） ○昨年、殿下地区でボランティアをしました。自然は勿論、一番の魅力は殿下の皆様の温かさと熱さです。私の第二の故郷です。（京都 20代 女性）	○限界集落内の唯一の商業施設（そば屋）の廃業危機を地元の女性陣の協力、工夫で乗り切っただけでなく、売上、来店数も飛躍的に増加し、他の地域でも参考に成り得る点が評価できる。 ○ヨソモノの学生スキルを活用している慎みの深さがいい。 ○売上が急速に拡大されつつあり、地域も活気を取戻してきている点が評価できる。
19	福井県	農業生産法人　有限会社かみなか農楽舎	○かみなか農楽舎の卒業生が、地域に溶け込んで地域の人に受け入れられ、地域の担い手に成長していっている姿は、新規就農者の参入の好事例となっている。（福井 50代 男性） ○かみなかに住みたいと思いました。転職を考えさせられる内容です。（東京 40代 男性） ○かみなか農楽舎の取組は農業の活性化だけではなく、地方創生の切り札となる素晴らしいシステムだと思います。（滋賀 30代 男性）	○地域活性化のための就農定住。実績が素晴らしい。 ○農家民泊の研究に熱心。
20	三重県	相差海女文化運営協議会	○日本文化を語るうえで、とても大事な民族文化です。日本の心を残すためにも、海女を未来永劫残しましょう。（愛知 50代 男性） ○相差の海で、町で、ゆっくり時間を過ごし、相差の人々に癒されるとまた明日から頑張ろうと思えます。（京都 30代 女性） ○若い世代も海女さんという仕事に興味を持ち、選択肢の1つとするためにも、このような取組は重要だと考えます。（静岡 20代 女性）	○次世代へ継承すべき地域文化の「海女」を有効に生かした取組。世界を意識し、また、海女ブームに乗ってメディアを活用し旅行需要を喚起させている点を高く評価。 ○神秘性も感じ、人々の興味をそそる。行ってみたいと感じさせる魅力を発信。漁村のモデルとして評価できる。

No.	都道府県	地区名	主な応援メッセージ	有識者委員の主なコメント
21	滋賀県	せせらぎの郷	○せせらぎの郷に関わる方々の話を聞くとエネルギーがあふれていて、その目のきらきらした輝きに、風景とは真逆の熱いものを感じます。（東京 40代 女性） ○いきものにやさしいお米づくりへの取組は、安心安全だけでなく、心の豊かさと、未来への希望を感じさせてくれます。滋賀県の誇りです。（滋賀 60代 男性） ○私はせせらぎの郷を通じて、人間と魚や農作物が共存していることを再認識し、多様性を考えるようになりました。（滋賀 30代 女性）	○オーナー制導入により、消費者である都市住民との交流が活発化していること、今後、農家民宿や小中学生の教育旅行も視野に入れ、交流が更に活発化する可能性がある点が評価できる。 ○住民参加の事業として評価できる。 ○環境と農業の共存を目指す取組が興味深い。
22	和歌山県	農業法人株式会社秋津野	○秋津野ガルデンの取組は地域農業活性化のモデル。これからも都市と農村の架け橋として頑張って下さい。（和歌山 30代 男性） ○秋津野ガルテンは、素晴らしい。料理も美味しいし、宿泊もきれいで、とても満足です。よく勉強会に行っていますが、個人的にもガルテンを知らない友達を連れて遊びに行きたいです。（熊本 20代 男性） ○秋津野の人たち、上秋津地区の人たちは本当に元気で、地域にこんな元気な大人がたくさんいることが宝だと思っています。（和歌山 20代 女性）	○地域愛に根ざした出資、法人化、雇用、売上げでの右肩上がりの成果を評価。 ○廃校を利用したレストランや体験学習、出資のほとんどが住民の自力であることを評価。 ○活動のシンボルである木造校舎の活用が見事。
23	島根県	美又湯気の里づくり委員会	○中山間を活性化するのは簡単ではありませんが、でも取り組まなければ何も始まりません。その勇気と努力に敬意を表します。（広島 60代 男性） ○美又湯気の里づくり委員会の取組は、まさに地方創生の草分けともいえる取組ではないでしょうか。（新潟 50代 男性） ○農産物が付加価値を得て農家所得が上がっても、地域が寂れてはダメだと思う。地域を再生させる視点でのこの6次産業化は、そういった意味で素晴らしいと思う。（広島 40代 男性）	○「黒」をキーワードとするPRがうまい。健康と美容というキャッチが素晴らしい。 ○過疎化対策として地域全体で6次産業化の取組を行い、3次産業の育成強化により、1次産業の作付拡大、所得向上に取り組んでいることを評価。 ○観光まで含めた6次化の取組が見事。
24	岡山県	北庄中央棚田天然米生産組合	○わたしたちは みなさんのおかげで 学校ではできないべんきょうを「田んぼの学校」で しています。これからも がんばって たなだを してください。（岡山 小学校1年生 女性） ○地区の高齢化で景観維持が大変なところ、県内外からの支援者の心を動かし、力を借りて努力されておられること、素晴らしいと思います。今後も頑張ってください！（岡山 50代 男性） ○「田んぼの学校」で訪れ、今ではすっかり北庄ファンで棚田サポーターになりました。みんなを受け入れてくれる雰囲気も大好きです。（東京 40代 女性）	○「苦農」から「楽農」へ。このキャッチフレーズは秀逸！ ○手のかかる棚田を共通の資産として、力をあわせて活動している。 ○都市住民の協力を得て荒廃地発生を抑制するとともに、米のブランド化と販路開拓により、米価下落時においても安定的な価格で販売ができている点を評価。

No.	都道府県	地区名	主な応援メッセージ	有識者委員の主なコメント
25	香川県	農事組合法人　たどつオリーブ生産組合	○オリーブは小豆島というこれまでの常識を変え、香川県の県花であり、県木であるので、香川県中に広まって貰いたい。（香川 60代 女性） ○多度津産「蒼のダイヤ」を食したところ、癖になる味でたちまちオリーブのとりこになりました。今年も収穫期を迎えとても楽しみにしています。（香川 60代 女性） ○オリーブは、ポリフェノールの含有が多いので、高齢化している日本人の病気予防に必要です。国公認の安全で効用効果が期待できる食品になるように頑張ってください。（香川 40代 女性）	○耕作放棄地から世界に誇れる商品を生みだした。 ○ブドウからオリーブへの転換、「蒼のダイヤ」というネーミングとパッケージのセンスの良さを評価。 ○耕作放棄地の解消に役立ち、地域の特産品として成長している点が高く評価できる。
26	熊本県	小岱山薬草の会	○私の地域でも薬草の取組をしておりますが、先進地の事例として大変参考になります。（岐阜 40代 男性） ○医療費が拡大していく中で、身近な自然の薬草を健康作りに生かそう、という活動はとても素晴らしいと思います。（大阪 30代 女性） ○山に行けば生えている草ですが、薬草の会の料理は、美味しい。昔の人が誰もが持っていた薬草を活用する知恵を、これからも美味しく伝えてください！（熊本 30代 男性）	○薬草という意外性。 ○学生、若い人材との協力で実績を上げ、今後の展開も期待できる。 ○地域にある資源を活用し地元のおばちゃん達が元気に活動している。全国ともつながり、成果を上げている。
27	鹿児島県	社会福祉法人　白鳩会	○社会福祉法人E.G.Fです。同じ方向性を持った仲間がいることを嬉しく思います。障がいを持った彼らでも農業には無限の可能性があります。共に頑張っていきましょう！（山口 30代 男性） ○このような取組の重要性は誰もが理解するところだと思います。より多くの方にこうした活動の内容について知っていただき、危機感を抱いている農山漁村の方々の助けになることを願います。（鹿児島 20代 男性） ○東京在住ですが、以前、白鳩会のパンやジェラート、肉加工品などを取り寄せて、ホームパーティーで提供したら、すごく好評でした。福祉と農業の連携、そして6次加工、素晴らしいですね。（東京 40代 男性）	○長年の関係者の努力に敬服。 ○農場経営の規模拡大、安定化により高い給与水準を実現し、障がい者の就労や自立が図られているとともに、県内外からの就農希望者増に繋げている点が評価できる。 ○農業と福祉の連携がうまくいっている。長く続けることに意義があり、農業の企業化も評価できる。

資料２

「ディスカバー農山漁村の宝」（第２回選定）
グランプリ及び特別賞について（案）

グランプリ

新湊漁業協同組合（富山県射水市）

・魚さばき教室、セリ見学、カニ給食等を通じた魚食普及

・「新湊カニかに新鮮白えびまつり」に年間４～５万の観光客

特別賞

(1) グローバル賞（※インバウンド等の優良事例）

遠野・住田ふるさと体験協議会（岩手県遠野市）

・外国人研修生、企業研修生などを積極的に受入れ

(2) プロデュース賞（※６次産業化等により収益性の高い事例）

社会福祉法人Ｅ．Ｇ．Ｆ（山口県萩市）

・障がい者の活用による農業や農産物加工業の本格的展開

(3) ウィメン賞（※女性の活躍の優良事例）

相差海女文化運営協議会（三重県鳥羽市）

・海女漁文化を活用した地域おこし

「ディスカバー農山漁村の宝」（第２回選定）　選定地区一覧（受賞４地区は交流会での発表まで対外秘）

プロデュース賞

No.22　山口県　萩市
社会福祉法人E.G.F
障がい者が力をあわせ未来の農業を支える

No.23　徳島県　吉野川市
特定非営利活動法人
美郷宝さがし探検隊
「キレイのさと」　美郷の宝の守り人

No.24　香川県　多度津町（たどつちょう）
農事組合法人たどつオリーブ生産組合
瀬戸内の小さな町で創った「蒼のダイヤ」

No.25　熊本県　玉名市
小岱山薬草の会
薬草食べて元気な町に

No.26　鹿児島県　南大隅町（みなみおおすみちょう）
社会福祉法人　白鳩会
農福連携で過疎化になやむ地域おこしを！

No.27　沖縄県　名護市
やんばる畑人プロジェクト
「やんばるは美味しい！」全国へ！

No.17　滋賀県　野洲市（やす）
せせらぎの郷
生きものと人が共存できる農業を目指して

No.18　和歌山県　有田市（ありだし）
株式会社　早和果樹園
有田みかんの６次産業化による地域活性化

No.19　和歌山県　田辺市
農業法人株式会社秋津野
都市と農村の交流施設　秋津野ガルテン
（廃校舎を活用した施設で日本型グリーン･ツーリズムの推進）

No.20　島根県　浜田市
美又湯気の里づくり委員会
美肌の湯が紡ぎ育む「地域まるごと６次産業化」

No.21　岡山県　久米南町（くめなんちょう）
北庄中央棚田天然米生産組合
都市との交流で『苦農』から『楽農』へ

No.14　福井県　若狭町（わかさちょう）
農業生産法人
有限会社かみなか農楽舎
農業で地域を元気にする次世代リーダー育成

No.15　岐阜県　下呂市
馬瀬地方自然公園づくり委員会
「日本一の美味しい村･美しい村づくり」
（馬瀬地方自然公園づくり）

ウィメン賞

No.16　三重県　鳥羽市
相差海女文化運営協議会
日本一海女が多いまち鳥羽相差
海女文化を世界へ発信！

No.1　北海道　剣淵町（けんぶちちょう）
絵本の里けんぶちVIVAマルシェ
絵本の里けんぶち軽トラマルシェ
お客様と共に農業を楽しみたい！

No.2　北海道　北斗市
函館育ちふっくりんこ蔵部
美味しいお米　自分たちで決まりをつくって守る！
道南の「美味しいお米」をより多くの人に食べてもらいたい。

No.3　青森県　平川市
農業生産法人
株式会社グリーンファーム農家蔵
日本一の農家蔵･庭園の町で
食農･食育教育の実践

グローバル賞

No.4　岩手県　遠野市
遠野･住田ふるさと体験協議会
企業研修や外国人にグリーン･ツーリズムをすすめよう！

No.5　宮城県　仙台市
一般社団法人ReRoots
復旧から復興へ、そして地域おこしへ

No.6　栃木県　市貝町（いちかいまち）
芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会
影は薄いが、情けは厚い
本州最大級芝ざくら公園

No.7　埼玉県　秩父市
お菓子な郷推進協議会
カエデの多分野多用途活用

No.8　神奈川県　平塚市
平塚市漁業協同組合
平塚のお魚普及キャンペーン大作戦

No.9　静岡県　西伊豆町（にしいずちょう）
西伊豆しおかつお研究会
伝統の味でまちおこし！
伊豆半島を元気に！

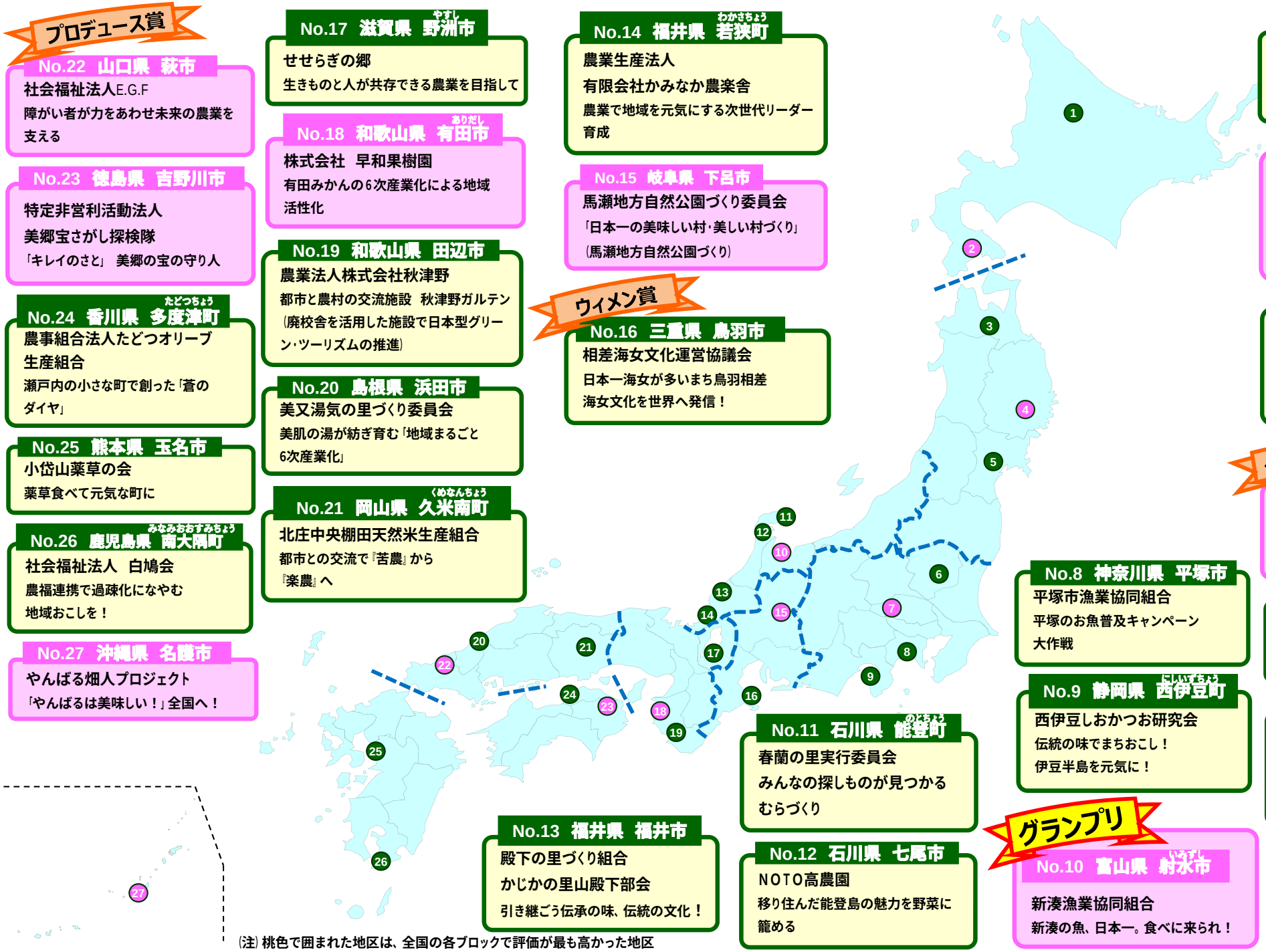
No.11　石川県　能登町（のとちょう）
春蘭の里実行委員会
みんなの探しものが見つかるむらづくり

No.12　石川県　七尾市
ＮＯＴＯ高農園
移り住んだ能登島の魅力を野菜に籠める

No.13　福井県　福井市
殿下の里づくり組合
かじかの里山殿下部会
引き継ごう伝承の味、伝統の文化！

グランプリ

No.10　富山県　射水市（いみず）
新湊漁業協同組合
新湊の魚、日本一。食べに来られ！



（注）桃色で囲まれた地区は、全国の各ブロックで評価が最も高かった地区

参考 1

「ディスカバー農山漁村の宝」有識者懇談会委員

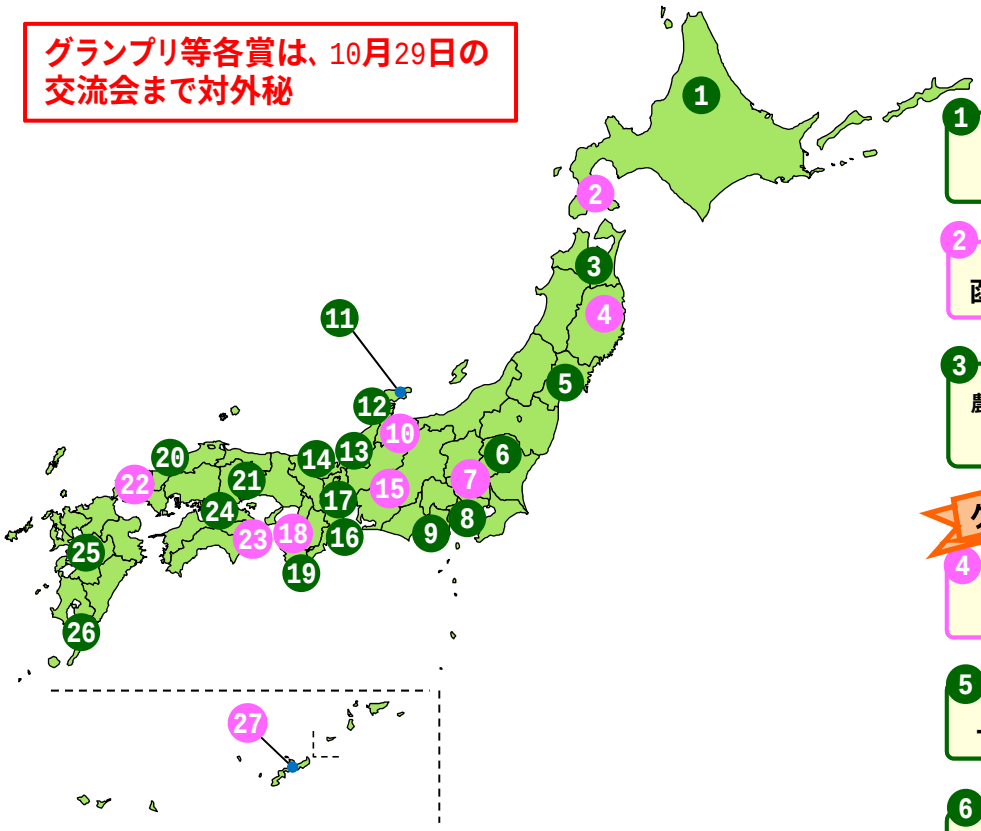
あん・まくどなるど	上智大学大学院教授、慶應義塾大学特任教授
今村 司	(株)NPBエンタープライズ代表取締役社長
織作 峰子	大阪芸術大学教授、写真家
田中 里沙	(株)宣伝会議取締役副社長兼編集室長
東谷 望史	馬路村農業協同組合代表理事組合長
永島 敏行	俳優、(有)青空市場代表取締役
(座長)林 良博	国立科学博物館館長
三國 清三	オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ
向笠 千恵子	フードジャーナリスト、食文化研究家、郷土料理伝承学校校長
横石 知二	(株)いろどり代表取締役社長

(五十音順：敬称略)

参考2

「ディスカバー農山漁村の宝」
（第２回選定）

グランプリ等各賞は、10月29日の交流会まで対外秘



1 北海道 剣淵町（けんぶちちょう）
絵本の里けんぶちVIVAマルシェ

2 北海道 北斗市
函館育ちふっくりんこ蔵部

3 青森県 平川市
農業生産法人
株式会社グリーンファーム農家蔵

グローバル賞

4 岩手県 遠野市
遠野･住田ふるさと体験協議会

5 宮城県 仙台市
一般社団法人 ReRoots

6 栃木県 市貝町（いちかいまち）
芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会

7 埼玉県 秩父市
お菓子な郷推進協議会

8 神奈川県 平塚市
平塚市漁業協同組合

9 静岡県 西伊豆町（にしいずちょう）
西伊豆しおかつお研究会

グランプリ

10 富山県 射水市（いみずし）
新湊漁業協同組合

11 石川県 能登町（のとちょう）
春蘭の里実行委員会

12 石川県 七尾市
NOTO高農園

13 福井県 福井市
殿下の里づくり組合
かじかの里山殿下部会

14 福井県 若狭町（わかさちょう）
農業生産法人
有限会社 かみなか農楽舎

15 岐阜県 下呂市
馬瀬地方自然公園づくり委員会

ウィメン賞

16 三重県 鳥羽市
相差海女文化運営協議会

17 滋賀県 野洲市（やす）
せせらぎの郷

18 和歌山県 有田市（ありだし）
株式会社 早和果樹園

19 和歌山県 田辺市
農業法人株式会社秋津野

20 島根県 浜田市
美又湯気の里づくり委員会

21 岡山県 久米南町（くめなんちょう）
北庄中央棚田天然米生産組合

プロデュース賞

22 山口県 萩市
社会福祉法人 E.G.F

23 徳島県 吉野川市
特定非営利活動法人
美郷宝さがし探検隊

24 香川県 多度津町（たどつちょう）
農事組合法人 たどつオリーブ生産組合

25 熊本県 玉名市
小岱山薬草の会

26 鹿児島県 南大隅町（みなみおおすみちょう）
社会福祉法人 白鳩会

27 沖縄県 名護市
やんばる畑人プロジェクト

※桃色で囲まれた地区は、全国９ブロック（北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州･沖縄）各ブロックで評価が最も高かった地区。

平成２７年１０月２９日

「食」の
提供・活用

農林漁業
体験

地産地消

北海道 剣淵町

絵本の里けんぶちＶＩＶＡマルシェ

絵本の里けんぶち軽トラマルシェ
お客様と共に農業を楽しみたい！

軽トラの移動販売

軽トラマルシェ

地元食材の「農家めしバイキング」

概要

- 若手農業者が農作物を軽トラの荷台に積み込み、各地で移動販売（マルシェ）。地元小・中・高校の体験学習の受入れ
- マルシェの情報は、ブログ等ＳＮＳを通じて定期的に発信
- 小売店との価格競争に巻き込まれないよう、小売店にはない少量多品種販売を実施

成果

- 売上げが30万円（H22）から1,600万円（H26）と増加傾向
- 直接消費者と接することで、栽培農作物に一層の責任感を持つとともに、消費者ニーズを直に感じることで、生産現場に反映
- 農作物の販売に留まらず、農家レストランの食材提供やワークショップ、加工品製造など活動内容が多角化

「食」の
提供・活用

農林漁業
体験

地産地消

北海道 北斗市

函館育ちふっくりんこ蔵部

美味しいお米　自分たちで決まりをつくって守る！
道南の「美味しいお米」をより多くの人に食べてもらいたい

田植え体験

高校生による販売促進

ＪＡＬ国内便ファーストクラスの機内食

概要

- 独自基準を設けて品質を守る取組により、米の品種「ふっくりんこ」のブランド化を推進
- 「食べる前に知ること」をテーマに、地元高校生の農作業学習や体験ツアーにより、食について普及・啓発
- 「ふっくりんこ」を原料とした純米酒等加工品の開発・販売

成果

- 生産量は、平成15年から右肩上がりで増加し、平成22年以降は７～９千トンで推移
- ＪＡＬ国内便ファーストクラスの機内食として採用
- 地元外食チェーン店や小中学校の給食に採用

食育　農林漁業体験　６次産業化

青森県 平川市

農業生産法人
株式会社グリーンファーム農家蔵（のうかぐら）

日本一の農家蔵・庭園の町で食農・食育教育の実践

高校生への食農教育

米国の学生へ食農教育

食農教育の生活体験

概要

- 日本一といわれる農家蔵・庭園群を地域資源として活用
- 受入組織の構築や受入農家研修、大都市圏の旅行会社や学校への教育旅行の誘致活動、ファームステイ受入れ、インバウンド受入れ（米国、タイ、台湾）等により、農作業・農村生活体験を通して農業と食料の大切さを理解する食農・食育の実践
- 米粉入りパンやジェラートの販売など６次産業化を推進

成果

- 毎年、３千人規模の教育旅行の受入れ
- 県内有数の教育旅行受入地となることで、受入農家や地域商工業者に経済波及効果
- 米粉パンは販売開始の26年度に120万円の売上げ。27年度は200万円を見込む

自然・景観　観光　学校・企業

岩手県 遠野市

遠野（とおの）・住田（すみた）ふるさと体験協議会

企業研修や外国人にグリーン・ツーリズムをすすめよう！

外国人研修生と収穫体験

海外研修生と古民家再生作業

廃校を活用して研修を実施

概要

- 首都圏の大企業と連携し廃校の活用や農家民泊を通じて、コミュニケーション育成を主とした企業研修・交流を実施
- インバウンド需要に応え、受入家庭向け英語研修や外国人の視点による市内サインの見直し、外国語の地図の刷新などを実施するほか、大型商談会に出展しＰＲ
- 沿岸復興地への視察・ボランティアのニーズに応える行程の確立

成果

- 民泊の受入対象が、学生主体だったものが、企業研修やインバウンド対応にまで広がることで、リピーター増に繋がり、様々な地域施設の利用も増加するなど経済波及効果大
- 企業研修（２割増見込み（H26-27））やインバウンド（５割増見込み（H24-27））の増加等新しい客層ニーズに対応するため、新規の受入家庭や後継者の確保が促進

宮城県 仙台市

復興　地産地消　農林漁業体験

一般社団法人 ＲｅＲｏｏｔｓ（リルーツ）

復旧から復興へ、そして地域おこしへ

公営住宅で移動販売

地域美化活動

サツマイモの苗植え

概要

- 被災農家と協力した市民農園やアンテナショップの開設、行政等と連携したワークショップへの参加、地域美化活動等を通じて、地域コミュニティの再生を支援
- アンテナショップや移動販売で被災農家の野菜販売を実施。また、企業等と連携しレトルトカレーの商品化
- ひまわり植栽など農村景観ツアーや、さつまいもの農業体験・食育ツアーを実施

成果

- 地域コミュニティ再生への地元住民の立ち上がりを促進
- 大学生が主体となることで若者の農業への関心を引き出し、設立当初からのメンバーが県北で就農
- 野菜販売活動を通じて、消費者のニーズを農家に伝えることで、農薬使用を控えたり、珍しい野菜づくりへの挑戦など農家活動に変化

自然・景観　観光　ボランティア

栃木県 市貝町

芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会

影は薄いが、情けは厚い　本州最大級　芝ざくら公園

芝ざくらまつり

高校生による植栽ボランティア

高齢者の除草ボランティア

概要

- 「負の遺産をプラスに変える」との発想の下、国営農業水利事業で発生した大量の残土置場を「芝ざくら公園」として整備
- 地域の自治会が組織化し、町と連携して芝ざくら公園の維持・管理を行うほか、鉄道会社等と連携した観光ツアーの開催、そばオーナー制、イベントの開催等観光誘客に取り組み
- 公園管理の作業について、ポイントカード制を導入するなどボランティアを確保

成果

- 20万人が訪れる芝ざくらまつりや各種イベントの開催により、地元商店や町内事業所が活性化され地域経済に寄与
- イベントや施設の管理など、年間を通した雇用の創出
- 地域の全戸が協議会の会員となって活動を行い、地域コミュニティの再構築が促進

埼玉県 秩父市

６次産業化　地産地消　自然・景観

お菓子な郷（くに）推進協議会

カエデの多分野多用途活用

中学生と植樹事業

カエデ樹液の採取

国産メープルシロップ使用製品

概要

- 秩父の山々に自生しているカエデに着目し、国産メープルシロップ事業を開始。樹液の採取、シロップ化（秩父カエデ糖）のほか、カエデ酵母菌使用のパンの開発、カエデのラムネの販売など、６次産業化と林商工連携によるお菓子づくりを推進
- 針葉樹林にカエデを植栽するなど、針広混交林化や「花粉の少ない森づくり」を推進
- 大手小売店、コンビニ、通信販売を活用した販売事業を展開

成果

- 商品の製造等に地域の若者、高齢者、障害者等と連携協働することで、商品の収益を地域全体に循環させる仕組みを構築
- 大手小売り等との連携により、関連商品の売上げが倍増（H23:2,500万 → H26:4,600万円）
- 国産メープルシロップ事業は、持続可能な森林の活用、山林の再生に貢献するほか、お菓子製造を通じて地域活性化に貢献

ディスカバー農山漁村(むら)の宝

６次産業化　農商工連携　地産地消

神奈川県 平塚市

平塚市漁業協同組合

平塚のお魚普及キャンペーン大作戦

キッチンカーによる販売

地どれ魚直売会

ビーチdeさばき方教室

概要

- 大型農産物直売所や港の荷さばき施設で、漁師による対面販売により、地元で捕れる魚を新鮮でおいしく食べることができる幸せを平塚市民等に共感してもらうとともに、大漁で値がつかない魚、流通にのりにくい規格外の魚等を販売
- 各種イベントでのキッチンカーによるお魚せんべいの販売や、地元ＦＭ局と連携した中継付き販売など、地魚のＰＲ活動
- 飲食店兼加工施設を立ち上げ、６次産業化に取り組み

成果

- 漁師から消費者への直接販売により、漁師の魚の扱いや鮮度管理等の意識が向上
- 「低利用魚」の付加価値を高める新商品開発等により、漁師の経営マインドや視野が向上
- ６次産業化による多角的な取組により、新たな収入確保、ＰＲ効果も実感でき、モチベーションが向上。地どれ魚直売会開始当初から３年間で売上げが約４割増（H23-26）

静岡県 西伊豆町

６次産業化　農商工連携　地産地消

西伊豆しおかつお研究会

伝統の味でまちおこし！伊豆半島を元気に！

中学校の食育授業

B-1グランプリに出展

浅間大社奥宮へ奉納

概要

- 地域の伝統食「潮鰹」の神事の再現や、地域の団体と連携して、鰹漁で栄えた当地の歴史や食文化に着目したイベントを共催
- 地域のグルメ「西伊豆しおかつおうどん」を通じて、Ｂ－１グランプリに出展し、食の提供とともに地域をＰＲ
- 学校給食での「西伊豆しおかつおうどん」の提供と、潮鰹の歴史など出張授業による食育活動

成果

- 「潮鰹」は、あまりの塩辛さと知名度の低さから、製造が途絶えそうな危機的状況であったが、活動により生産量が増加し、ふりかけや関連商品も販売。西伊豆しおかつおうどんの提供店舗も３４店舗になるなど、地域の飲食店、土産物店、食品会社の売上に貢献
- イタリアのスローフード協会が希少な絶滅の恐れのある食材を認定する「味の箱船」に認定

食育

「食」の提供・活用

地産地消

富山県 射水市

新湊（しんみなと）漁業協同組合

新湊の魚、日本一。食べに来られ！

市内の小学校でカニ給食

昼セリの見学

万葉カレイの試食会

概要

- 朝・昼２回のセリ見学、見学活動と衛生確保を両立させる施設改築、「カニ給食」（市内全小学６年生にベニズワイガニ丸ごと１匹プレゼント）による魚食普及、高校生を対象とした魚のさばき方教室等を実施
- 「新湊カニかに新鮮白えびまつり」において、新湊漁港で水揚げされるベニズワイガニや白えび等の販売や食の提供
- 若手漁師によるマコガレイのブランド化やイワガキの養殖技術の実用化

成果

- 「新湊カニかに新鮮白えびまつり」は、県内外からの集客があり、毎年約４万から５万人の集客。昼セリ見学者数は１年で４倍に（H25-26）
- 新湊で水揚げしたマコガレイを数日間養育し、肉厚の状態の良いものを「万葉カレイ」として付加価値を付けて出荷

伝統・継承　農林漁業体験　自然・景観

石川県 能登町

春蘭（しゅんらん）の里実行委員会

みんなの探しものが見つかるむらづくり

輪島塗の御膳

農家民宿で修学旅行を受入れ

キノコ狩り体験

概要

- 黒瓦、白壁などの景観や地域の生活様式といった、地域の景観や伝統を地域の宝として農家民宿・体験事業を実施し、国内外の教育旅行や一般客を受入れ
- 輪島塗りの器を使用するなど農家民宿の質の向上や宿泊受付窓口・料金の統一化、80を超える体験メニューを整備
- 農家民宿の開業講座や勉強会など農家民宿の確保や魅力の向上

成果

- 平成９年度１軒だった農家民宿が周辺集落にも広がり47軒に拡大。春蘭の里金沢会が発足
- 入り込み客数が平成９年度30人から平成26年度には１万人超え
- 世界農業遺産効果で地域の建設業者の農業参入により、耕作放棄地が解消

女性の活躍　定住・移住　６次産業化

石川県 七尾市

NOTO高農園

移り住んだ能登島の魅力を野菜に籠める

能登島の魅力を野菜に籠める

耕作放棄地を再生

コリンキー（生食可能なかぼちゃ）

概要

●平成12年に夫婦で新規就農し、遊休農地を利用して伝統野菜等をエコ栽培、有機栽培

●地域の食材の魅力や栽培情報を広め、６次産業化を推進

●「能登エコファーマーズ倶楽部」を設立し、エコ農業や地産地消のＰＲ。若手女性農業者や異業種女性の仲間づくりを推進

成果

●作付けの拡大に伴い耕作放棄地が減少

●能登島の食材のＰＲ・普及により、農業体験や移住希望者が増大。百貨店バイヤー、レストランシェフ等、毎年500人規模の体験を受入れ

●能登が世界農業遺産に登録されたこともあり、エコ農業等の環境に配慮した農業生産に注目

女性の活躍　伝統・継承　学校・企業

福井県 福井市

殿下（でんが）の里づくり組合 かじかの里山殿下（でんが）部会

引き継ごう伝承の味、伝統の文化！

農家レストランでのおもてなし

開店当時

大学生と新商品の開発

概要

- 限界集落内唯一の商業施設（そば屋）の廃業危機に対して、地域の女性たち（60～80代）が農家レストランを立ち上げ、地域の伝承料理、地元野菜を使った創作料理を提供
- 人気のある惣菜を缶詰にして全国販売
- 大学生と連携してイベントの実施や、新商品の開発、店舗の有効利用など、地域の活性化に向けた取組を展開

成果

- 農家レストランの開業等により、地域への人の流れが、「通りすぎ」から「ワンストップ」してもらえる地域に変化
- 年間来店者も平成22年の数百人から平成26年約６千人に増加し、それに比例して売上げも約10倍に増加するなど地域が活性化

定住・移住　研修　農林漁業体験

福井県 若狭町

農業生産法人 有限会社 かみなか農楽舎（のうがくしゃ）

農業で地域を元気にする次世代リーダー育成

操作の指導を受ける研修生

田植え体験イベント

地元担い手との交流会

概要

- 都市からの若者の就農定住による地域活性化を目的に、農業技術、農業経営、機械メンテナンス等の２年間の研修を実施
- 一番の研修を「地域の一員になること」とし、集落行事、祭りなど地域の伝統行事に積極的に参加
- 各種機関と連携し教育旅行で農業体験を実施。将来農業を志す研修生と交流し、職業感も含め体験を提供

成果

- 平成13年から平成27年までに研修修了生22人が町内で就農、家族を含めると58人が町内に定住
- 定住者の農地集積は町内農地の10%以上に広がり、担い手として活躍
- 研修卒業生等の地域行事等への参加は、地元若者の参加やＵターンのきっかけになるなど地域全体が活性化

自然・景観　観光　「食」の提供・活用

岐阜県 下呂市

馬瀬（まぜ）地方自然公園づくり委員会

日本一の美味しい村・美しい村づくり
（馬瀬地方自然公園づくり）

馬瀬地域の景観

火振り漁を公開

ウォーキングイベントの開催

概要

- 観光と農林業の調和を重視したフランスの「地方自然公園制度」を訪仏して直接学び、参考にして活動
- 集落の野外を博物館に見立てた「里山ミュージアム」、地域を網羅するウォーキングコースの設定、ウォーキングイベントの開催、馬瀬川の伝統漁法の観光ツアー等の取組
- 地域の名産の鮎について、イベント開催、料理提供、加工品の開発など、地域の食としての魅力を引き出し

成果

- 里山ミュージアムなど新たな取組の開始により、域内イベント参加者数が300人から約２千人に（H24-26）
- 景観など地域の魅力を積極的に発掘し活かす取組を続けた結果、住民が地域の良さに気づき、自主的な取組の機運が醸成
- 地域に定住した地域おこし協力隊員や学生の活動参加が活発化

女性の活躍　伝統・継承　観光

三重県 鳥羽市

相差海女文化運営協議会

日本一海女が多いまち 鳥羽相差
海女文化を世界へ発信！

海女と触れ合う体験施設

海女小屋相差かまど

海女が信仰する「石神さん」

概要

●地元の海女が信仰する神明神社「石神さん」や海女と触れ合うことができる「海女小屋相差かまど」、海女について知る「海女文化資料館」、地域の特産品の販売施設等の整備や、海の信仰を知り体験する散策コースを、商工会議所と協働して設定し、次世代へ継承すべき海女漁という地域文化をフル活用

●施設の従業員等、運営は海女をはじめすべて女性

成果

●地域固有の文化である海女に特化した事業の継続的な取組により、テレビ、雑誌等マスコミ関係者の取材が増え発信力が向上

●ミシュランの旅行ガイドで１つ星獲得など、外国人の高い評価

●海女の漁が行われないときなど海女の雇用・所得向上の場となり、海女減少率の鈍化に寄与。協議会としても６千万円超の売上げ

自然・景観

農林漁業体験

ネットワーク

滋賀県 野洲市

せせらぎの郷（さと）

生きものと人が共存できる農業を目指して

田んぼの稚魚の観察会

環境に配慮した米からの酒造り

稲刈り体験

概要

- 琵琶湖の湖魚が水路を通じて田んぼで産卵・生育し、琵琶湖に戻っていくという田園環境を取り戻すため、減農薬、無化学肥料による米作りを実施。また、６次産業化の取組として日本酒を販売
- 都市住民の農作業体験、田んぼの稚魚の観察会、地元住民と都市住民の交流会を開催
- こうした取組に関心のある地域、人とのネットワークを構築

成果

- 都市住民との交流を通して、地域住民の自然環境に対する意識が向上
- 無農薬・無化学肥料栽培など新たな取組にチャレンジするなど、環境と経済への発展を視野に入れた活動が展開
- 2016年にメキシコで開催予定のCOP13に参加して、活動をPR予定

ディスカバー農山漁村（むら）の宝

６次産業化　輸出　女性の活躍

和歌山県 有田市

株式会社 早和果樹園（そうわ）

有田みかんの６次産業化による地域活性化

有田みかんの加工商品

商談会での試飲

シニア女性の加工作業

概要

- 高品質の有田みかん生産に取り組むほか、みかんジュース、ジャム、ポン酢など有田みかんに特化した商品開発を推進。生産にはＩＣＴ農業システムを導入し栽培技術の「見える化」を進め、農作業の効率化を推進
- 各種商談会や百貨店等での販売や海外への輸出など、販売促進と消費者のニーズを把握。消費者との交流事業も実施
- 農作業や加工などシニア女性の活躍の場である子会社を設立

成果

- 地元のみかん農家約250戸と契約し、高付加価値の加工品の販売により、加工原料みかんを市価よりも高く買取り。また、売上げも1.5倍に増加（H25-26）
- 常時50人を雇用するとともに、さらに臨時で50人雇用するなど中山間地域における雇用の創出
- 交流事業により、有田みかんファンの定着が促進

観光

農林漁業体験

「食」の提供・活用

和歌山県 田辺市

農業法人 株式会社 秋津野（あきずの）

都市と農村の交流施設 秋津野ガルテン
（廃校舎を活用した施設で日本型グリーン・ツーリズムの推進）

秋津野ガルテン外観（旧小学校）

農家レストラン

市民農園でサツマイモ植付け

概要

●地域住民489名が出資し、廃校を活用したグリーンツーリズムを実施する法人を設立

●木造校舎を利用して、農家レストランや宿泊事業のほか、農業体験、みかんのオーナー制度、市民農園などの交流事業を展開

成果

●農家レストランをはじめとした交流事業による年間交流人口は約６万人。法人運営により、35名の雇用が創出

●和歌山大学の調査研究によると、田辺市周辺に年間10億円の経済効果

●地域資源である旧小学校の木造校舎を残したことが489名の出資を呼び込み、10年先を考える地域づくりを活性化

観光　６次産業化　ネットワーク

島根県 浜田市

美又湯気の里づくり委員会

美肌の湯が紡ぎ育む「地域まるごと６次産業化」

黒大豆豆腐と黒米焼酎

皆で取り組む「地域まるごと6次産業化」

概要

- 地域全戸を対象としたワークショップ等で地域の埋もれた宝である「黒食材」と「美又温泉」に着目し、「地域まるごと６次産業化」に向けた取組を展開
- １次産業として「黒米」、「黒大豆」を栽培し、２次産業としてＮＰＯ法人を起業して黒米や黒大豆の全量買取による黒米焼酎や黒豆豆腐の加工を行い、３次産業として美肌効果のある「黒食材」と美肌の湯「美又温泉」とを組み合わせたブランド化を推進

成果

- 条件不利地域において、高付加価値型農業を実践（従来の作物と比べて、黒米、黒大豆の栽培により所得が３倍に向上）
- 地域の宝（食材、温泉、景観、人、伝統芸能）を紡いだ「地域まるごと６次産業化」による地域再生の取組は、地域の誰もがかかわり、所得向上等の効果を実感することで地域のまちづくりの機運向上

自然・景観　伝統・継承　学校・企業

岡山県 久米南町

北庄中央棚田天然米生産組合

都市との交流で「苦農」から「楽農」へ

田んぼの学校（児童が田植え）

田植え体験

田んぼの学校（ため池の仕組み）

概要

- 県補助事業終了後も棚田保全を進めるため、本組合を設立。地元小学校と連携し、田植・稲刈作業を体験する「田んぼの学校」を実施
- 棚田撮影の写真家はじめ都市住民が参加する「棚田支援隊」を発足し、地域住民と協働で、棚田の荒廃地発生抑制を目的に天日干しコシヒカリの栽培等を実施
- 棚田米をブランド米として関西・関東の米問屋に販路を開拓

成果

- 地元小学校では、農を通じて地域文化や遺構を活用した他の学校にない総合学習として取り組まれ、情操教育に寄与
- 荒廃地発生が抑制され、都市住民と田舎との交流が進展
- 棚田米が安定した優位な価格で販売でき、モチベーション向上

医療・福祉　6次産業化　定住・移住

山口県 萩市

社会福祉法人 E.G.F（いー じー えふ）

障害者が力をあわせ未来の農業を支える

障害者による玉ねぎ生産

障害の特性を生かした農業

オリジナルの箱で全国発送

概要

- メロン、イチゴ、野菜の苗作りから収穫、加工まで、障害者の能力に応じ各工程に障害者が関わり事業を展開
- 12粒2,500円で販売する有機栽培イチゴ、高い需要の国産手剥き栗など、下請け的な作業ではなく「本物づくり」を目指し、営業に力を入れて、農作物、加工品を販売
- 品質が確保されたものだけを農産物として販売。他は加工品として販売

成果

- 雇用が確保され、安定した給与の下で農業に従事できることから、市外・県外からの就職希望があり、移住者が増加
- 圃場での障害者の活動を見た地域住民や農地所有者から、農地の管理依頼が増加
- 自然豊かな環境で農業に取り組むことで、精神的にも障害者の安定に寄与し、障害程度区分の改善に効果

自然・景観　伝統・継承　「食」の提供・活用

徳島県 吉野川市

特定非営利活動法人 美郷（みさと）宝さがし探検隊

「キレイのさと」 美郷の宝の守り人

学生に「石積み教室」

ホタルの保全、自然学習

「美郷梅酒まつり」に沸く農家民宿

概要

- 大学機関と連携し、住民だけで保存が難しくなった石積みの保全体制を構築。地元住民を講師に、学生に石積み技術の習得・継承や能郷体験を実施
- 天然記念物に指定されているホタルの生息環境づくりや、「ほたるまつり」を地元の各団体と協力して開催
- 「梅酒特区」認定を受け、酒蔵及び農家民宿と連携し、試飲・購入ができる「体験型ラリーイベント」を開催

成果

- 活動の結果、過疎高齢化で衰退の途を懸念していた地域に年間８万人の観光客が訪問
- 梅酒特区の認定により、Ｕターン、Ｉターンによる梅酒の製造者が増加。地域おこし協力隊の移住者も村内5人目の梅酒製造者に
- 農家民宿の開業や６次産業化を手がける農園、地元商工会の農山村体験交流イベントの開催など、地域に波及効果

耕作放棄地再生

６次産業化

地産地消

香川県 多度津町

農事組合法人 たどつオリーブ生産組合

瀬戸内の小さな町で創った「蒼（あお）のダイヤ」

統一ブランド「蒼のダイヤ」

かがわ農業フェアでＰＲ

オリーブを植樹した再生農地

概要

- ブドウ産地で、農業者の高齢化・後継者不足の進行等により増加した耕作放棄地を利用し、県花・県木であるオリーブを栽培
- 町内企業と連携し、地場産オリーブを「蒼のダイヤ」というブランドで製品化し、県内や首都圏にて販売
- 馴染みのなかった町民への普及を図るため、オリーブの佃煮など新商品を開発し、学校給食やイベントを利用した普及活動を実施

成果

- ブドウと比べ手間がかからず収益性が見込めることや、ブドウとの作業競合が少ないことが普及するにつれて、耕作放棄地再生・オリーブ植栽の機運が高まり、結実開始（H24）の100kgのオリーブ収穫から、1,500kg（H26）、27年には7,200kgの収穫を見込む
- オリーブの共同加工やイベント開催により、消費者や飲食店、企業など異業種とのつながりが新たに構築。国際オリーブオイルコンテストで金賞を受賞

「食」の提供・活用　研修　ボランティア

熊本県 玉名市

小岱山薬草の会（しょうだいさん）

薬草食べて元気な町に

地元中学校への出前薬草料理教室

薬草花壇の整備

薬草観察講演会

概要

- 地域内に昔から自生する薬草の知識や料理法について、大学薬学部と連携して、地元住民、小中高生を対象に、広報紙やイベント、料理教室、出前勉強会で普及啓発
- 高齢者コミュニティビジネス支援のため、公園内の薬草花壇づくりや、荒廃した農園を薬草農園に変え薬草茶と薬草足湯をつくる事業を支援
- 薬草活用を希望する県内外の団体に対し、研修の受入れを実施

成果

- 継続的な普及活動により、地元住民に薬草知識を持つ者が増加
- イベントへの積極的な参加によりマスコミに取り上げられることが多くなり、薬草の町として認知度が向上
- 県外からも研修の申込があるなど、取組が全国的に波及

医療・福祉　6次産業化　女性の活躍

鹿児島県 南大隅町

社会福祉法人 白鳩会（しらはとかい）

農福連携で過疎化になやむ地域おこしを！

ソーセージの結束作業

花の木農場での茶生産
（東京ドーム20倍の面積）

アンテナショップ

概要

- 障害者が安心して働き暮らせる場をつくるため、農事組合法人を設立し、農業を企業化（障害者に高い給与水準を確保）
- 農場内で牛糞等を作物肥料に使用する循環型農法を実践し、茶製造、ハム・ソーセージなどの食品加工を行い、統一ブランド名「花の木農場」で販売
- 鹿児島市内にアンテナショップを開設し、ジェラート等の製造・販売とともに、消費者に直結する商品開発を促進

成果

- 農場経営の規模拡大・安定化で、県内はもとより県外からの就職希望者が増加
- 女性が働きやすい職場環境づくりが促進
- イベントの開催など食品の販売を通じて、県内外の人々と交流促進

「食」の提供・活用　6次産業化　農商工連携

沖縄県 名護市

やんばる畑人（はるさー）プロジェクト

「やんばるは美味しい！」を全国へ！

やんばる畑人プロジェクトによるフードフェス

春の香祭名護漁協と連携

やんばるスパイス

概要

- 地域の農家20名がレストラン、宿泊施設、加工企業等42店舗と連携し、農産物からスパイスまで全て地元やんばる産でおもてなし
- 農家と飲食店の連携により、地元保育園児に対し「植え付け、収穫、調理、食べる」までの工程を実体験
- 規格外の食材を利用した付加価値の高い商品の開発。また、マルシェや地域の食材を中心としたフードメニューで、地域資源の素晴らしさを実感してもらうフードフェスを開催

成果

- 新聞やＴＶの取材が多くなり、取組や地域資源を全国に発信
- 大手コンビニエンスストアの弁当に食材が採用されるとともに、首都圏の百貨店の沖縄展のメインブースを担当
- フードフェスの売上げは、1.5倍に（H25-26）